NAMLON T-206

非水系塗料用粉末ダレ防止剤

NAMLON T-206 は水添ひまし油を主成分とする合成ワックス系で白色微粉末です。その効果を十分に発揮させる為にはビヒクル中で完全に分散し、さらに適度に加温膨潤させる必要があります。分散膨潤すると独特の連続的な網目構造を作り、分散系にチクソ性を与え増粘・ダレ防止剤として効果を発揮します。

■ 性 状 (一般性状であり、納入規格ではありません)

外 観	白色微粉末
成分系統	水添ひまし油 アマイドワックス
融 点	137℃
粒 度	20 μ 以下

■ 用途及び使用方法

- ・合成樹脂塗料系全般、特に油性系（アルキド等）、シーリング材（シリコン系、ウレタン系）に適しています。
- ・分散機種は塗料の場合サンドミル、アトライター、三本ロールミル等を使用し、塗料製造初期のプレミックス段階で添加します。シーリング材の場合は二軸攪拌機等で加熱混合します。
- ・添加量は通常塗料、シーリング材に対し0.3～1.0%（重量）の範囲で適正分散温度にて膨潤させます。この分散温度はビヒクル、溶剤等の種類や分散機種、分散時間によっても異なりますので総合的に考慮する必要があります。従って実際の使用に当たっては事前に確認検討をお願い致します。
- ・塗料等に分散時、制限温度を越えた場合、添加剤がビヒクル中に溶解し、冷却時に析出する際顔料凝集を伴い一部が顆粒になる事が有りますので注意が必要です。一方、添加時に適正分散温度を下回る場合、膨潤不足の為初期効果が弱い上、経時によって膨潤が進む事による粘度変化が発生し、安定性に支障をきたす事があります。